

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 13日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県磐田市塩新田字荒浜582

氏名 川研ファインケミカル株式会社静岡工場

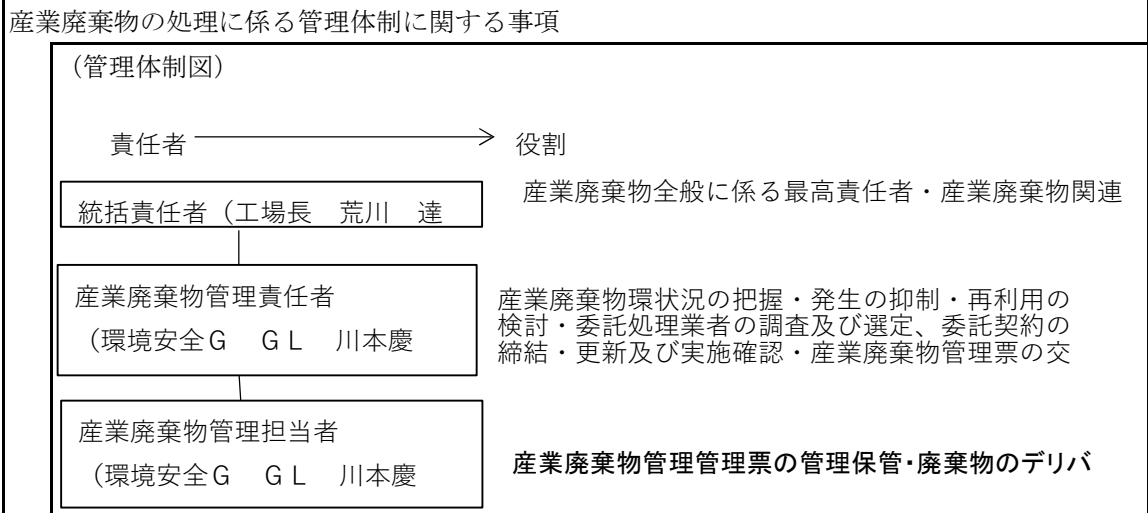
荒川 達也

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0538 - 58 - 1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川研ファインケミカル株式会社 静岡工場		
事業場の所在地	静岡県	磐田市	塩新田字荒浜582
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	化学工業		
② 事業の規模	製品製造量：818.5トン		
③ 従業員数	181名（正社員161名 それ以外の他職員20名）		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①（第6面の下部へ追加）		



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	廃アルカリ	1,680.720 t
	廃油	0.820 t
	廃酸	83.280 t
	廃プラスチック類	41.660 t
	汚泥 (泥状のもの)	23.053 t
	木くず	2.020 t
	蛍光灯	0.040 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	8.001 t
	乾電池	0.040 t
	水銀使用製品産業廃棄物	0.012 t
	金属くず	0.001 t
	廃電気機械器具	0.150 t
(これまでに実施した取組) 有機酸を含む廃液、釜洗浄液を自社生物処理 (中間処理)		
	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	廃アルカリ	1,900.000 t

②計画	廃油	20.000 t
	廃酸	110.000 t
	廃プラスチック類	50.000 t
	汚泥（泥状のもの）	40.000 t
	木くず	3.000 t
	蛍光灯	0.050 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	10.000 t
	乾電池	0.050 t
	水銀使用製品産業廃棄物	0.050 t
	金属くず	0.010 t
	廃電気機械器具	0.200 t
	（今後実施する予定の取組） 有機酸を含む廃液、釜洗浄液を自社生物処理（中間処理） ポリドラムを洗浄し、廃液用として再利用	
	産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃アルカリ（タンク・ドラム置場）、廃酸（ドラム置場）、廃プラスチック（ドラム・専用コンテナ）、汚泥、廃乾電池、廃油、金属類、廃蛍光灯、廃ガラス、木くず、回収紙の専用置場を設置し表示	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック減容のための高度分別と自社での破碎を計画。	

		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	廃アルカリ	0.000 t	253.540 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		(これまでに実施した取組) 吸収塔からの排水を排水処理施設にて処理 有機酸を含む廃液、釜洗浄廃液を自社生物処理（中間処理）	
	【目標】		
産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
廃アルカリ	0.000 t	300.000 t	
	0.000 t	0.000 t	
	0.000 t	0.000 t	

②計画		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
(今後実施する予定の取組) 前年と同程度			

	0.000 t
	0.000 t
	0.000 t
(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	【前年度（令和 5 年度）実績】				
	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
廃アルカリ	476.942	0.000	938.370	0.000	1,415.312
廃油	0.820	0.000	0.820	0.000	0.820
廃酸	0.000	0.000	83.280	0.000	83.280
廃プラスチック類	4.560	0.000	4.060	0.000	41.660
汚泥（泥状のもの）	1.495	0.000	21.558	0.000	23.053
木くず	0.000	0.000	0.000	0.000	2.020
蛍光灯	0.040	0.000	0.000	0.000	0.040
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.001	0.000	0.000	0.000	8.001
乾電池	0.040	0.000	0.000	0.000	0.040
水銀使用製品産業廃棄物	0.012	0.000	0.000	0.000	0.012
金属くず	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001
廃電気機械器具	0.150	0.000	0.000	0.000	0.150
(これまでに実施した取組)					

①現状

		特に無し
--	--	------

産業廃棄物の種類	【目標】				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
廃アルカリ	200.000	0.000	1,700.000	0.000	1,900.000
廃油	0.000	0.000	20.000	0.000	20.000
廃酸	0.000	0.000	110.000	0.000	110.000
廃プラスチック類	5.000	0.000	0.000	0.000	50.000
汚泥（泥状のもの）	3.000	0.000	37.000	0.000	40.000
木くず					3.000
蛍光灯	0.050	0.000	0.000	0.000	0.050
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.020	0.000	0.000	0.000	10.000
乾電池	0.050	0.000	0.000	0.000	0.050
水銀使用製品産業廃棄物	0.050	0.000	0.000	0.000	0.050
金属くず	0.010	0.000	0.000	0.000	0.010
廃電気機械器具	0.200	0.000	0.000	0.000	0.200
(今後実施する予定の取組) 特に無し					

②計画

※事務処理欄	
--------	--

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①：産業廃棄物の一連の処理の工程

